

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.18
2004 May

甲南Today No.18

2004年5月10日発行

【発行】 甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1

TEL 078-431-4341 (代)

Network Konan

つながる! 甲南ネットワーク

ロースクール開設記念 座談会

新しい学びがつくる、 新しいローヤーとは?

研究室
訪問

日本の丸木舟文化

丸木舟で、まだ見ぬ民俗探訪に漕ぎ出す

2004年度
オール甲南の集い
8月7日(土)開催!



「恩賜の杖」(鳩杖とはづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生飢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

鳩杖



平生先生とは何者か／実業家か／たしかに新分野の開拓者／だが富の追求者か／財も豪邸も残さず／夫人は常に三等車とわが祖母は言う／明治の政商に代わる自由人起業家／建て直しの達人／甲南学園と阪神間文化と共に大正デモクラシーの申し子／気骨は明治人か／明治の混乱期に岐阜県に生まれ／志を立てて／東京に新時代の教育を求める／が立身出世派でなく／自由を求めて韓国の税関／そこで自国民に便宜図らぬけじめ／東京海上火災で社命の接待に社服の詰め襟で出席の倫理家／愚直な職務忠実に似て非／次第に天賦の才が現れ／自分で問題を立て自分で現実的解決／すべてが根本は同じ問題／そういう意味の一貫性／常識人の陰に自由人／違和感と孤独／内面の葛藤もあろう／そこからの自己修養／それが教育への情熱の源泉か／生涯の自己規定は教育者だった／晩年川崎社長から甲南校長に／少年時への郷愁か／生徒との昼食／昭和の官僚は七年制高校を敵視／甲南を守るためかも／最晩年は文相・枢密顧問官／孤独な愛国者／敗戦直後いかに思われて世を去られたか。



貴族院議員 平生飢三郎先生

中井久夫教授

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職。4月より「兵庫県」のケアセンター所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

杉村芳美 新学長

Yoshimi Sugimura



甲南を次代へ進めていく 第14代学長に、 杉村教授が就任

平成16年度からの甲南大学新役職が決まり、これまで副学長を務めてこられた杉村芳美教授が今後、学長として新体制を率いていかれることとなりました。ここでは、甲友の皆様方へのご挨拶として、新学長本人が、現職に就かれての率直な感想や今後甲南が目指していくべきビジョン、具体的な活動内容などについて語ります。

これからの大学運営を考える上で、とくに留意すべきは、やはり少子化という社会の構造的な変化でしょう。近い将来には、受験生の数より、大学の定員枠が多くなる全入時代が訪れると言われ、大学間の競争がますます激しくなることは避けられません。しかし、こうした時代の到来は、大学にとって飛躍のチャンスでもあると私は考えています。

多くの視線が大学に注がれるいまだからこそ、社会的に評価される大学としての質をいかに提示できるかが重要になってくる。甲南大学はこれをきっかけにより確かな質を備えた教育・研究の場としての基盤を固めるべきだと思います。

平生先生の目指された「個性の尊重」はいまの時代にこそ必要な考え方であります。私たちにはこれを受け継いできた85年の伝統とその実現のための環境があります。また、ここから生まれた個性溢れる8万人の卒業生とのネットワークがあります。これらを資産として生かしながら、これからの教育をつくりあげていきたい。

「世界に通用する紳士たれ」は平生先生の言葉ですが、やはりいま求めらるるのは国際化、情報化の時代に真に通用する人材を育てていくことでしょう。日本語・英語の言語能力をベースにコミュニケーションの力を養い、単にパソコンを扱えるだけでない本質的な情報活用能力を伸ばす。そして、確かな専門能力を身につけ、自信と実力を備えて社会へ送り出すことを基本方針として目指していきます。

それからもう一つ、意欲に応える教育を徹底します。前学長時代に続き、私たちは自らリーダーシップを発揮できるアクティブスチューデントの育成に力を入れていきます。EBA総合コースもいよいよ第一期生が海外留学の時期を迎え、軌道に乗って動いていますし、またコースキールの開校により、自発的に学問を追究するという環境がさらに整ってまいり

ました。サイバーライブラリの利用度も上がっています。こうした環境の充実を生かして、一人ひとりが個性を発揮し、お互いに影響し合って学ぶキャンパスをつくりあげていきたいと考えています。

産官学の連携という面では、先端生命工学研究所(FIBER)が発足し、ほかに類を見ない独自の研究を進めています。

卒業生、現役生、ご父母の皆さん、いま甲南大学は伝統をベースに、大きく飛躍する時期にあります。広報紙などを通じて、つねに新しい情報をお伝えしてまいりますので、どうか大学の動きに目を向けてください。そしてこれからも変わらぬご協力をお願いいたします。

CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

- 甲南を次代へ進めていく第14代学長に、杉村教授が就任
- 平成16年度新任教員紹介
- 平成15年度退任教員紹介
- “就職”から“キャリアデザイン”へ
- 「私立大学学術研究高度化推進事業」に、2事業が採択!
- 人間科学専攻 小寺洋一さんが臨床心理士試験に合格
- 平成16年度大学役職者一覧

Network Konan ◆ つながる!甲南ネットワーク

ロースクール開設記念 座談会

新しい学びがつくる、 新しいローヤーとは?



研究室訪問

日本の丸木舟文化

丸木舟で、まだ見ぬ 民俗探訪に漕ぎ出す



甲南を使いこなそう! ● 甲南キャンパスガイド
キャンパスライフ充実のゴツは
情報サービスの活用にアリ!

ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 ◆ こちら甲南特搜部

世界に出会うと、自分がどんなふうに変わりますか?

50th Anniversary クラブつながりレレシヨン

- 体育会硬式野球部
- 文化会茶華道料理部道心会

Pick up 高・中Topics

自学自修の実践

休日を利用した学びを奨励
自発的に動く力を身につける

トゥレーヌ甲南学園だより 授業でフランス人に日本文化を紹介

伝えることで、見えてくる文化がある

第一線で活躍中の卒業生にアクセス! ◆ IT'S KONAN STYLE

集いて、群れず。それが世界に
通用する個を育む、甲南の個性

甲南フォーラム

表紙の絵



西井義晃 画
「18号館 カウンセリングセンター中庭」

西井義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

次のURLで作品集をご覧ください
<http://webgarou.net>

学生の個性を触発する 新たな20の智性が着任

【平成16年度新任教員紹介】

甲南大学では個性的な教授陣が自らの特性を生かした教育を行っています。平成16年度より、さらに20名の先生方が加わりました。ロースクールの開校にともない、法学部の教員の厚みが増したほか、その他の各学問領域についてもより多様な視点での指導を行ってまいります。新任の先生方の活躍に期待ください。

文学部



山口直彦 特任教授
専門分野/精神医学、心理学

文学部



西 欣也 助教授
専門分野/演劇学、文芸学、芸術学

文学部



中谷健太郎 助教授
専門分野/言語学

法学部



前嶋京子 教授
専門分野/会社法、商法

法学部



馬場圭太 助教授
専門分野/民法、フランス法

法学部



西山隆行 講師
専門分野/政治学、比較政治学、政治史

法科大学院



高須要子 教授
専門分野/民事訴訟法

法科大学院



高森八四郎 教授
専門分野/民法

法学部



徳永 光 助教授
専門分野/刑法、刑事証拠法

法学部



豊田幹子 助教授
専門分野/刑法、刑事政策

法学部



益澤 彩 講師
専門分野/民法、不法行為法

経営学部



倉科敏材 特任教授
専門分野/経営学、ベンチャービジネス

法科大学院



高須要子 教授
専門分野/民事訴訟法

法科大学院



高森八四郎 教授
専門分野/民法

法科大学院



中田耕三 特命教授
専門分野/民事訴訟法

先端生命工学研究所



甲元一也 講師
専門分野/生物有機化学

法科大学院



宮川 聡 教授
専門分野/民事訴訟法

先端生命工学研究所



中野修一 講師
専門分野/生物物理化学及び生命分子化学

国際言語文化センター



CHICHE, Didier 助教授
専門分野/古典文学、ラテン文学

スポーツ・健康科学研究センター



曾我部晋哉 助手
専門分野/体育学、スポーツ医学

高等学校・中学校



HANRATTY, Sean Q. 契約教員
高等学校・中学校

先端生命工学研究所



HANRATTY, Sean Q. 契約教員
高等学校・中学校

先端生命工学研究所



HANRATTY, Sean Q. 契約教員
高等学校・中学校

長い間、 ありがとうございました

【平成15年度退任教員紹介】

長年にわたってご指導くださいました5名の先生方が、3月に退任されました。各先生方から甲友の皆さまへのメッセージをご紹介します。



岡崎幹郎 教員 高等学校・中学校
1965年に甲南に入社。39年間も甲南でお世話になったことになりました。仲ひ仲びと自由な職場環境のもと、若い生徒たちの成長を常に目にするのが、幸せな日々だったと思います。これから先、生活がいよいよ実行に移すこととなります。先主へ職員の皆様へ厚く御礼を申し上げます。



渡邊義克 教員 高等学校・中学校
私にとって、甲南は社会の第二歩であり、又、学び舎でもありました。この度、少し早い卒業を試みましたが出来が果たしたのか、講師としてもう暫く教育現場に留まることになりました。再度、ギターを入れ直し、心機一新この素晴らしい甲南教育現場を無事卒業出来るまで邁進したいと思っています。



中井久夫 教授 文学部人間科学科
6年の甲南在学時代に比して7年間は東の国で、私が人間科学科創設、また文系で全国唯一文部省芸術プロテクト推進事業実施校と意気盛んな時期でした。後任が甲南小学校にいたことのある山口直彦教授なのも奇遇です。同僚、事務方、院生にはよくいていただきました。甲南全体の一層の発展を祈ります。



松尾光芳 教授 理工学部生物学科
甲南大学には19年間お世話になりました。偏に皆様方の公私にわたるご指導、ご鞭撻のおかげで教育研究を続けてまいりました。有りがたうございました。なお、4月からは非常勤講師として今暫く仕事を続けることになっております。今後とも変わらぬ御厚意を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

”就職“から、
”キャリアデザイン“へ



甲南大学の就職部は、今年度4月より、キャリアセンターとして新しくスタートしました。ここでは、なお厳しい就職状況の中で、一人ひとりの学生に、自分の志望と適性に合った進学、就職などの進路を実現してもらうためのサポートを行います。

従来のように3年次から就職活動を始めるとは、早く早い段階から将来を意識し、実現に向かって着実に力を身につけていくキャリアデザインという考え方を浸透させていくことを目指しています。具体的には1年次からガイダンスなどを行い、意識づけを行っていくほか、各年次に合わせたさまざまなサポートを実施します。とくに1年次生には、専門のキャリアアドバイザーが週2回のカウンセリングを行うなど手厚く支援します。



や適性に合わない手当たり次第の就職活動になつてしまいがち、せっかく就職したのに企業と合わなくて早期退社という事態にもなりかねません。そうならないためにも、ぜひいまのうちからキャリアセンターを訪れ、最適な将来を考えていくきっかけにしてください。

「スタートは、
3年次からで十分間に合う」は
誤解！



キャリアセンターのサポート例

自己発見段階

- 適性テストの実施
4月に「キャリアマップ(自己診断テスト)」を受検。フォローアップセミナーで結果に基づいたサポートを行います。
- 進路発見ガイダンス
キャリアアドバイザーが将来に向けて何をすべきか詳しく説明。ガイダンス後もキャリアサポートデスクで個別相談を受けることができます。
- 少人数ゼミナール
キャリアセンター職員がゼミなどに出向いて、キャリアデザインについて細やかなアドバイスをしています。

進路選択段階

- 文書作成、履歴書、SPI、時事問題の基礎講座などを実施
「就職活動準備講座」で今後必要な基礎スキルを培い、就職活動のスムーズなスタートを狙います。
- 就職講座・社会人から実践的知識を習得する
企業人、公務員、教員など各職業分野の社会人の体験を聞くことにより、自分の数年後をイメージします。

就職活動準備段階

- 本格的に就職活動に必要な力をつける
志望企業決定に役立つ詳しい情報提供やエントリーシート対策講座、面接マナー講座などにより、目指す進路を実現する力に磨きをかけていきます。

就職活動段階

- 活動状況に応じ、メンタル面もサポート
準備してきた力が最大限に発揮されるよう、就職活動中に起こりうる諸問題について相談に応じするなど、マンツーマンのサポートを行っています。

キャリアセンターホームページ <http://www.adm.konan-u.ac.jp/cs/>

「私立大学学術研究
高度化推進事業」に
2事業が採択！

文部科学省が選定する「私立大学学術研究高度化推進事業」に、2事業が採択されました。まず、「学術フロンティア推進事業」に、先端生命工学研究所が行う「有用な人工生命分子創製のためのテーマード・バイオケミストリー」(プロジェクト代表者：杉本直己理工学部教授(先端生命工学研究所 所長))が採択されました。「学術フロンティア事業」とは、「優れた研究実績をあげ、将来の研究発展が期待される卓越した研究組織を選定し、重点的かつ総合的に支援を行う」もので、「今後とも継続的に発展が期待される中核的研究拠点たりうる研究組織で、特定の研究領域における共同研究を推進する」事業です。

このように、「優れた実績があり、かつ研究分野の中核拠点たりうる」として国に認められ、支援が受けられることは、さらなる研究推進に大きな力となることは間違いありません。また、「オープン・リサーチ・センター整備事業」に、「知的情報ネットワークによる高度教育支援システム」の構築に関する研究(研究代表者：岳五理工学部教授)が採択されました。「オープン・リサーチ・センター整備事業」とは、「学外の幅広い人材を受け入れ、研究成果を広く公開するなど、オープンな体制の下で行われるプロジェクトの実施に対し、重点的かつ総合的に支援を行う」ものであります。

私立大学における研究基盤を強化し、国の学術研究の発展に資する目的の支援が受けられることは、甲南大学の学術研究の発展に大きな期待が寄せられていると言えるでしょう。

人間科学専攻 小寺洋一さんが、
臨床心理士試験に合格

平成15年度の臨床心理士資格試験において、本学の人文科学研究科人間科学専攻博士後期課程3年の小寺洋一さんが合格されました。小寺さんは日本で初めての全盲というハンデを乗り越えての合格であり、この事実には後に続く後輩たちにも勇気を与えたいと思います。



障害を持つ自分にも可能性がある
甲南大で目標に到達しました
人文科学研究科人間科学専攻 博士後期課程3年 小寺洋一さん

僕が臨床心理士を目指したのは、事故で失明してからのさまざまな体験の中で、「心」に深い関心を持ったからです。ハンデを背負うことで、人は助け合って生きていくものだ、とわかりました。そして、誰かが心に不安を抱えたとき、その人を支援したい、支援できるようになりたい、と思うようになりました。目が不自由な僕が臨床心理士を目指すのは、簡単な事ではありませんでしたが、甲南大学の人間科学専攻では知識を教わるだけでなく、人と支え合いながら学べ、諦めずに頑張ることができました。また、人と深く関わりながら学ぶ中で、障害を持つ自分にこそ果たせる役割もあるということに気づきました。試験に合格したこれからは、学んできた知識や経験を活かして、人を深く理解し、関わっていきたいと思います。

平成16年度大学役職者一覧

役職名	氏名	所属	任期
学長	杉村 芳美	経済学部教授	新 平成20年3月31日
副学長	青山 義孝	文学部教授	新 平成18年3月31日
副学長	河崎 照行	経営学部教授	新 平成18年3月31日
文学部長	久武 哲也	文学部教授	新 平成18年3月31日
理工学部長	太田 雅久	理工学部教授	継 平成17年3月31日
経済学部長	佐藤 治正	経済学部教授	再 平成17年3月31日
法学部長	前田 忠弘	法学部教授	新 平成17年3月31日
経営学部長	中田 善啓	経営学部教授	新 平成17年3月31日
法科大学院長	渡辺 修	法科大学院教授	新 平成18年3月31日
国際言語文化センター所長	原田 登美	国際言語文化センター教授	継 平成17年3月31日
スポーツ・健康科学教育研究センター所長	山崎 俊輔	スポーツ・健康科学教育研究センター教授	新 平成18年3月31日
EBA高等教育研究所長	西川 耕平	EBA高等教育研究所教授	継 平成17年3月31日
大学企画室長(兼務)	河崎 照行	経営学部教授	新 平成18年3月31日
教務部長	梶野 文義	理工学部教授	新 平成18年3月31日
学生部長	青木 浩治	経済学部教授	新 平成18年3月31日
キャリアセンター所長	伊豫田 隆俊	経営学部教授	新 平成18年3月31日
図書館長	西田 英一	法学部教授	新 平成18年3月31日
学長補佐	都染 直也	文学部教授	再 平成18年3月31日
学長補佐	小山 直樹	経済学部教授	新 平成18年3月31日
広域副専攻センター所長	堀 直	文学部教授	新 平成18年3月31日
情報教育研究センター所長	服部 雄一	理工学部教授	再 平成18年3月31日
国際交流センター所長	上村 邦子	文学部教授	新 平成18年3月31日
フロンティア研究推進機構長	西村 順二	経営学部教授	新 平成18年3月31日
先端生命工学研究所長	杉本 直己	理工学部教授	再 平成18年3月31日
カウンセリングセンター所長	赤石 雅弘	経営学部教授	新 平成18年3月31日
人間科学研究所長	森 茂起	文学部教授	再 平成18年3月31日
総合研究所長	安西 敏三	法学部教授	再 平成18年3月31日
学生相談室長(兼務)	赤石 雅弘	経営学部教授	新 平成18年3月31日
カウンセリングルーム所長	横山 博	文学部教授	再 平成18年3月31日
情報教育研究センター副所長	佐藤 泰弘	文学部助教授	再 平成18年3月31日
国際交流センター副所長	藤原 三枝子	国際言語文化センター助教授	新 平成18年3月31日
人文科学研究科長	中島 信夫	文学部教授	新 平成18年3月31日
自然科学研究科長	田中 修	理工学部教授	継 平成17年3月31日
社会科学研究科長	佐藤 治正	経済学部教授	新 平成17年3月31日

私のキャリアデザイン



法学部専科 4年次 松山理恵さん

私が日本航空株式会社が行うインターンシップに参加を決意したのは、3年次のことです。キャリアセンター(当時…就職部の「就職懇談会」に参加し、すでに同社から内定を得ている先輩からアドバイスを受けたことがきっかけでした。実際に、香港でのインターンシップを体験し、接客業のやりがいや「コミュニケーション」の難しさを実感する一方で、1年次から抱いていた海外で働きたいという思いを明確にすることができました。8月からは交換留学生としてイギリスのリーズ大学へ留学し、さらに「コミュニケーション」力を高めるつもりです。大学では法学部の勉強がおもしろく、将来は法律の知識と英語を生かし、国連のような国際機関で発展途上国の教育環境整備に携われたらと思っています。皆さん、自分の将来を築いていくために、キャリアセンターのサポートを活用しない手はないですよ。





● 渡辺 修氏

甲南大学法科大学院長
元司法試験委員、法学博士、
京都大学大学院法学研究科
博士後期課程修了、
コーネル大学ロースクール修士課程修了、
刑事訴訟法専攻



● 北村 真氏

弁護士(大阪弁護士会)
甲南大学法学部卒、
同大学院修士課程(法学専攻)修了



● 前嶋 京子氏

甲南大学法学部教授
大阪大学法学部卒、
同大学院博士後期課程修了、
商法専攻



● 中平 佳代子氏

甲南大学法科大学院1年(未修者)
慶応大学法学部卒、
新潟大学法学研究科修士課程修了



新しい学びがつくる、 新しいローヤーとは？

2004年より、甲南大学に新司法試験制度に対応した法科大学院(ロースクール)が開設されました。

一期生は63名。未修者43名、既修者20名。また女性が20名。今春学部を卒業したばかりの院生から社会経験豊富な50代の院生までバックグラウンドは多様です。では、彼らが目指す21世紀型のローヤーとはどんな姿になるのでしょうか。

そしてロースクールの課題と展望は何か。さまざまな立場の方に語っていただきました。

なぜいま、ロースクールなのか？

渡辺 そもそも、なぜいま司法改革なのでしょう。まずはロースクールのバックグラウンドから考えていくことで、果たすべき役割を明らかにしたいと思います。

これについて私はこのように理解しています。日本社会はバブル以降すっかり、たが「が外れたようになっています。それまでは真面目さや勤勉さといった共通の価値観があったわけですが、バブルの時代には、一生懸命働かなくても株や投機でお金が儲かったため、従来の価値観が崩壊したのです。バブルは終わりましたが、だからといってそうした価値観が急に回復するでもなく、モラリティーの喪失と閉塞感だけが残ったわけです。ロースクールを通じて法曹を増やそうという今回の司法改革は、正義の味方を大量に必要としている日本国家の、再生の道です。犯罪の増加や企業のモラルの喪失など、社会がどうにもならないところまできているからこそ、多様なバックグラウンドを持つローヤーの養成が、不可欠になってきたのではないのでしょうか。

前嶋 確かにそういう向きもありますが、会社法を専門にしている私の立場から見ると、正義と言うより、トラブルを防ぎ、信頼性を高めるという「インフラとしての法律」が重要になってきているのではないかと感じます。例えば、いい製品をつくるけれども社内の法整備が遅れている企業は、どこかで他社の権利を侵害しているかも知れないというリスクを抱えているわけです。国際社会の中で、日本の企業が世界から認められ、投資の対象になったり、製品が競争力を持つたりするための枠組みを備えるには、もっと多くの法律家が活躍しなければなりません。だから司法改革にこれだけ注目が集まっているのではないのでしょうか。

中平 「権利を侵害されたから訴えてやる」とよく企業間で訴訟が起こります。ところが以前聞いた話によれば、訴えられた側も、訴えた側も、何の権利をどこまで侵害したのがよくわかっていないことが多いようです。法律家が企業にもっと密着していれば、こうしたトラブルを未然に防ぐことができるでしょう。いざというときに的確な判断ができるはずですよ。ロースクールによるローヤーの増員によって、こういう社会の構造を変えていけるのではないのでしょうか。

ロースクールで育つローヤー像

北村 皆さんいろいろな期待をお持ちですが、ちょっと待ってください。私としては少し気がかりな点があるんですよ。というのも、法曹というのは単に専門知識を持った専門家ではなくて、

法科大学院(ロースクール)とは

将来法律家になる人が学ぶ専門職大学院。2年で修了できる法学既修者と3年で修了する法学未修者が、法律の理論と実務を学ぶ新しい高等教育機関。アメリカのロースクール制度を参考にしたもの。

新しい司法試験では、ロースクールを修了し、法務博士号を取得した者のみが受験できる。しかも、良質の法律家を育てるため、ロースクール修了後5年間に3回しか受験できない厳しい制約がつく。

今年4月に全国68校が開校となり、5,800名弱が学ぶ。新司法試験は2006年に始まる。合格者は2011年には3,000人になるが、2006年には、2年で修了する全国約3,700人ほどの法務博士が1,000名程度の合格枠にチャレンジする予定。ここ甲南大学法科大学院でも受験準備が進む。

社会の法を守るという倫理面をしつかり備えた存在でなければならないのです。僕たちの時代は、司法試験があまりに難関だったため、ローヤーになるというところにある種の気高さのようなものがあり、ある程度そうした誇りが持てたと思います。ところが、これからローヤーの関口が広がり、法曹人口がどんどん増えるにあたって質が低下していくことはないか。私たち現役弁護士の間では、そうした危機感があります。

渡辺 なるほど。確かにこれまでの司法試験では、知識偏重の学習が余儀なくされてきました。法律知識は大切ですが、新しい司法試験とロースクールでは、それに加えてさまざまなバックグラウンドを持つ人が「法的思考」を身につけて法律知識を活かす力を学ぶため、2年、3年かける「プロセサ教育」を受けることが求められています。

北村 確かに現場では知識があるだけでは通用しない。人をどうすれば助けられるかということを法律的に思考し、イメージネーションをふくらませて対処できる力が必要ですからね。ただ、そうした実際の現場で役立つ法律的な思考は、非常に高度な技術であって誰にでもできるわけじゃない。単純にボーダーラインが下がるということはそのあたりに適合しない人の総数も、残念ながら増えてしまうのではないのでしょうか。

中平 北村さんのおっしゃるように、確かに数が増えればそれだけ、試験は通ったけれどローヤーに向かないという人が増えるかも知れませんが、でも全体的な質としてはどうなのでしょう。私が大学生だった頃、周りには司法試験を通るためにだけにシンのように勉強している人たちがたくさんいました。そういう人を見ると、疑問がわいてきます。ローヤーというのは、困っている人の救済者として人格をにじませて働かなければならないのに、現行の司法試験では、人形のようになって勉強しなければならない。本当にそんな勉強で、社会に求められる検察官や弁護士



新しい学びがつくる、 新しいロ－ヤーとは？

渡辺 では最後になりますがこれから甲南のロースクールが目指していくべき姿について皆さんの意見をお願いします。

北村 私たちの頃は、弁護士に憧れてはいるけれど、どんな仕事をしているのかいまいとわからずに試験に向かっていたところがあります。これから学びの場に現役の弁護士を呼んで具体的な話を聞き、現場をイメージしながら知識を身につけていくというシステムが確立されるならロースクールの意義は大きいと思います。弁護士はみんな単純ですから頼られるという教えるくれます(笑)。

前嶋 甲南の学生を見ていて思うのは、基礎能力は高いけれど、学びに対してガツガツしていないとか、それを楽しんでいる雰囲気がありますね。法学部での学びもできる限り試験勉強的なものではなく、学び本来の面白さから伝えているようにできればと思います。そうした学びを経た多くの学部卒業生を受け入れてくれるロースクールを期待しています。

中平 私が数あるロースクールの中で甲南を選んだのは、ほかの大学にはない少人数で温かい部分を感じたからです。これまでは専業主婦をしていた私にとって、再びロ－ヤーを目指すのは大きな挑戦なのですが、この環境の中でなら、自分の個性を生かして頑張れそうな気がしています。ですからロースクールには、そんな思いを支えてくれる「ぬくもりのある場」であって欲しい。そんなふうに願っています。

渡辺 「ぬくもりのあるロ－ヤー」を育てる。なるほど。これこそ甲南大学法科大学院が目指したい姿ですね。

甲南大学法科大学院のめざすもの



聴講していたロースクール生たちから意見が飛び出す一幕もあり、白熱した討論が繰り広げられました。



新司法試験とロースクール

になれるのかなって。少なくとも私にはそれが耐えられず、一時は研究者の道を選んだのです。

いま改めてロ－ヤーを目指しているのは、新司法試験とロースクールが、点ではなく面で育成していくという考え方を持っていたからなのです。例えば、ロースクールの入学試験では、TOEICの点数まで求められます。入学試験受験に必要な適性試験の問題には数学的能力を求めるものもあります。私自身は数学が苦手なので、「法学を学びたいのに、どうしてこんなことをしなければならぬんだろ」と思うこともありましたが(笑)。ともかく、ある一部の知識だけを集中的に詰め込むのではなく、より総合的に学べるのなら、自分が本来持っているモノをもっと生かせるのではないのでしょうか。人の人格とか、個性を生かせるという意味で、ロースクールには、ロ－ヤーのボーダーを下げるのではなく、本質的な質を向上させる可能性があるように思います。

前嶋 いま言われて驚いたのですが、ロースクールでは入学時に数学の能力まで必要なんですね。環境問題を扱うときに化学式が扱えないと困るだろうとか、当然、数学の知識が必要な場面はいろいろ想定できますが、ただ一方ではそんな知識を持たなくても立派な法律家の方はいらっしゃるわけです。社会全体として見れば、一部にそういうプロフッショナルの方は不可欠でしょう。しかし果たして入学者全員にそういう能力を求めていくことが必要なのでしょうか。これは今後のロースクールの課題ではないですか。

渡辺 ただ、非常に冷たい現実として新司法試験においても、ロースクールの学生が全員受かるという設定ではないですよ。競争試験です。だからどうしても試験でほかの人よりいい点をと

採ることを想定した学び方が必要になる。現行司法試験とは違うといっても、結局、試験に縛られたカリキュラムにはなってしまうのですよ。

前嶋 そうなんです。そこがつかない。ホントなら司法試験が、一定以上の学力を持つ人なら全員通れる資格試験になるべきだと私は思います。そうであれば、ロースクールが目指す伸びやかな学びが、より現実的なものになりますよ。

渡辺 厳しい現実はあるのですが、私たちは「社会をリードするビジネス・ロ－ヤー」、「社会を守るソーシャル・ケア・ロ－ヤー」を学習モデルに、実務に出て応用力が発揮できる柔軟な基礎力と一定の特徴のあるロ－ヤーの育成を目指しております。そんな中から、今司法改革が求めるさまざまなタイプのロ－ヤーが誕生すると確信しています。

ロースクールとこれからの法学部教育

渡辺 ところで前嶋先生、ロースクールが法律専門家の養成を引き受けるわけですが、では法学部はとうあるべきだと思われませんか。

前嶋 基本的に法律関係の知識の必要性というのは、実社会に密着してあります。例えばほとんどの人が生命保険に入るとありますが、そのとき自分で約款が読めると、誤解によるトラブルを回避することだってできます。法律の学びというのは本来、義務教育でやっつけてもおかしくない。と私は思うんですよ。ところが現実にはそうないないから、社会の中に、専門家ではないけれど法を知っているという人がもっと必要なんです。社会の底上げという意味で、学部が果たす役割は大きいのではないのでしょうか。



21世紀型ロ－ヤーはここから生まれる！

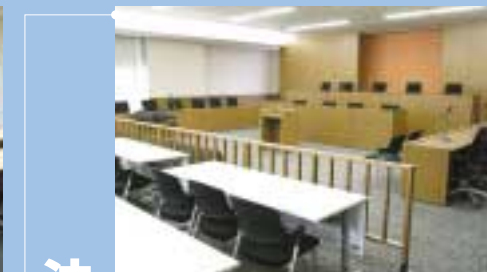
甲南大学ロースクール棟をご案内します



円卓法廷教室



講義室



法廷教室



談話室



自習室



演習室

先生、知の最前線を
教えてください！



研究室訪問

前時代の舟という認識は誤り
いまでも暮らしの中にある丸木舟

「丸木舟」というと縄文遺跡の出土品などを
思い浮かべ、遙か太古の時代を連想する人も多い
だろう。しかし、日本の水辺の文化に造詣の深い
歴史文化学科の出口教授によれば、丸木舟はいま
でも実際に、日本のあちこちで生活の必需品と
して利用されているという。時代錯誤な話にも
思えるが、本当だろうか。

「驚かれるかも知れませんが、事実なんですよ、
とくに若狭湾から北陸にかけて、そうした文化が
色濃く残っていました。確かに船の歴史から考え
れば、丸木舟は構造船いわゆる板船に発展して
いった過程に過ぎないと見る向きが一般的ですが、
実際に、ごく一部の地域だけでなく、これだけ広
いエリアにわたって技術・文化が継承されているこ
とから考えれば、前時代のものとする考え方は適
切ではないようです」。断っておく必要があるが、
現存する丸木舟は必ずしも一本の木から割り抜
かれたものではない。割り抜き部材を前後、左右
上下に継ぎ合わせてさまざまな形状のものが造
られており、学術的には「割り舟」と呼ばれるこ
とも多い。しかし、現地の人たちは、構造船と比

今回のテーマは…

日本の丸木舟文化

丸木舟で、まだ見ぬ 民俗探訪に漕ぎ出す

較してこれらを丸木舟とか丸太舟と呼んでいる
というから、やはり「丸木舟」が適切なだろう。

丸木舟文化を追うと、
日本の意外な一面が見えてくる

ところで、なぜ丸木舟はいまでも地域の人々の
生活に溶け込んでいるのだろうか。「それは特別
不思議なことではなくて、構造的に考えると、丸
木舟はとても実用的な船なんです。木材を割る
ことにより、無理のない丈夫な船体を造ることが
できますから、ところが生産効率に問題があり
ます。一本の丸太から一つの舟を割り抜こうと思
ったら、相当な巨木が必要ですし、無駄になる部
分も少なくありません。それで多くの地域では、
耐久性では劣るが、材に無駄のない構造船が発達
していったのだと思われます。ただしある地域で
は、割り材の強度を生かしつつも、複材化する工
夫により、この問題をクリアしてきた。丸木舟
が現存する背景には、こんな流れがあるのです」。
しかし、教授が加えて言うには、こうした船が現
存することは世界的に見ても希少なケースなの
だという。太古から木材を生活にうまく取り入
れてきた日本人だからその文化なのだろうか。

一隻の丸木舟から、世界の中の日本の姿まで見え
てくると考えると、興味は尽きない。

「丸木舟には実に多様な形状がありますが、突
き詰めていくと、ここから大変面白い事実が見
えてくるんですよ」と出口教授。教授は、多様な
丸木舟を、シキ(船底板)とタナ(舷側板)の形状
から類型化し、分類モデルをつくっているが、これ
を用いて日本列島と周辺アジアを眺めると、大
きく3つのエリアに区分でき

るという。面白いのは、そのエ
リアが、通常の感覚とは大き
く違っている点だ(下図参照)。

「例えば、東北北部は海峡
で遮られている北海道と類を同じ
くしており、地続きのはずの南部
とは別の技術が発達しています。
私たちは陸地のつながりで考えが
ちですが、丸木舟においてはま
く別の文化圏があるんですね。日本という枠組
みだけでなく、北方や南方諸国との文化が似通
っていることも注目値します。」「という文化伝達
ルートの存在を知れば、いままです説明のつかなか
った他分野の文化史を明らかにすることもできる
かも知れません」。

一見、前時代に終わった、閉ざされた技術と思
われがちだが、丸木舟に注目することで明らか
になっていくことは、このほか多い。日本文化をひ
も解いていくうえで、一つの貴重な存在であるこ
とは間違いないようだ。「ところが、いま木造船の
技術は終焉を迎えようとしています。これまで
技術を伝えてきた船大工さんたちは、いま70代
を迎えている人がほとんどで、技術そのものを後
世に残すのが難しい状況です。しかし、このまま
丸木舟の技術を廃れさせてしまうのは、日本だ

調査研究だけでなく、
文化遺産の継承を目指して

丸木舟から見た 日本の諸領域

シキとタナの発達から見る
丸木舟文化の違いの例(断面図)

シキ 剥き材 板材

北方地域では、タナ(舷
側板)に板を付けただけ
のものが多く見られる。

東北以南では、シキ(船
底板)を構造化した形状
のものが見られている。

けでなく世界的な損失。そこで私は近年、いかに
この技術を遺産として残していくかという保存
活動も始めています。直近の例では、石川県の千
路舟という丸木舟を造り続けてこられた船大工
さんに棟梁になっていただき、若い人たちと一緒
に新しい舟を造るプロジェクトを進めました。
若者には実際の仕事を通して技術を学んでもらう
ことを第一目標に、制作過程は写真やビデオなど
を交えて詳しく記録。また、舟にまつわるさまざ
まな民俗を地域の人々から聞き集め、完成した
舟は博物館へ保存した。」「こうした活動をこれか
ら一、二隻でも、二隻でも増やしていきたい」と出
口教授は力強く話す。単なる研究にとどまらず、
大きな使命感を得て進む教授の活動は、これか
らますます充実のときを迎えていくに違いない。

出口ゼミの春の巡検をレポート！

出口教授の研究姿勢の大きな特徴は、現場体
験をとくに重視されていること。ゼミの研究にお
いても、盛んにフィールドワークを実施しておら
れます。ここでは奈良県吉野山蔵王堂と門前
町の見学に行かれたときの様子をご紹介します。花
の時期は過ぎておりましたが、「葉桜もまた桜
なり」。吉野山一帯は今年7月、ユネスコの世界
遺産となる予定で、僧坊の説明にも熱がこも
ります。写真は参道の道すがら、山伏のほら貝
の吹き方を教わっているところです。



ゼミ生の皆さん、出口ゼミの雰囲気や学んでいる内容を教えてください

※()は出口先生の
コメント。

3年

菊池 愛さん

西国街道でのフィールドワークは難しいけ
れど、それと同じくらい楽しくなってきました。
先生、みやげ物屋の蛙も、蔵王権現像と
おなじ憤怒の青黒色ですね。

(鋭い観察。君も憤怒形でいいよ現地調査だね。)

米田 和世さん

ふだんは当たり前すぎて気にとめないよう
なことがなぜそうなのか、わかるととても面
白いです。

佐伯 祐美さん

以前おじさんがくれた脳天神社の鉛筆が
吉野山ゆかりであることに今日気づきました。

(日常の些細な体験が学問的関心につながる瞬間だ。)

宮原 香織さん

後藤 ゆかさん

巡検やフィールドワークが新鮮な学びです。
自分の足で調査するフィールドワークが魅
力です。高校までの教科書にはない新しい
面白さがあります。

(1日40キロ歩ける健脚と行動力はなかなかです。けど、もう
桜もきソフトクリームを食べているの？ ただいま下車3分後。)

西村 知奈津さん

このゼミのいいところは世界が広がること。

西川 愛さん

アクティブに真面目にフィールドと取り組ん
でいる学生が多いゼミです。

(巡検、卒論調査のヒントになりましたか。)

迎田 莊子さん

現代の町おこしと民間信仰の変容のあり
方についてとらんでいます。

米村 祥子さん

わが家に伝わる近世文書や民具から、村
落社会のなりたちを見ていきます。

(身近なところにたいじな研究素材はあるものですね。)

瀧浦 祈平さん

先生が怒ったところを見たことはありません。
ただし、厳しいつこみはあります。

(怒ってない？ そんなはずはない。)

2年

廣田 よしみさん

いろんな経験ができそうでこれから楽しみ
です。

寺本 善彦さん

積極性が求められます。

塚元 真央さん

気がぬけない。

猪原 典子さん

ゼミの時間は緊張してます。はやく仲良くな
りたい。

(授業中舟をこぐ先輩へ、この初心忘るべからず。)

さあ、一緒に勉強しましょう。



文学部歴史文化学科 出口 晶子 教授

1957年京都府生まれ。関西学院大学大学院文学研究科博
士後期課程。文学博士。民俗・地理学を専攻し、とくに日本の
水辺の暮らしを中心に研究している。「川辺の環境民俗学」「丸
木舟」など著書多数。

ものと人間の文化史 98

丸木舟

法政大学出版局
3,360円(税込)

川辺の環境民俗学

鮭瀬上河川・越後荒川の人と自然
名古屋大学出版会
5,665円(税込)



ゼミで先生を納得させる
プレゼンができるのは
実は、データベースのおかげ

キミの学修を助けるコンテンツ例

図書館 <http://www.adm.konan-u.ac.jp/lib/>

外部データベース

大学内で利用できる外部データベースにより、研究論文に役立つ新聞・雑誌記事などの検索が可能。ほかではなかなか手に入らない貴重な資料も、カンタンに見つけ出すことができ、内容の濃い論文作成ができます。

蔵書検索システム

本学所蔵の約77万冊から必要な資料を素早く見つけ出せる公開検索システムOPACを用意しています。図書館ホームページにアクセスすれば、どこからでも検索することができ、またヒットした資料については、そのままクリック一つで貸出し予約が行えます。

情報教育研究センター

<http://www.konan-u.ac.jp/ku-kinds/>

授業コンテンツ

情報教育センターでは、補助金などを活用して授業に沿ったコンテンツも作成しています。在学生はそれぞれの所属に関係なく、興味さえあれば、各学部にもわたるコンテンツにアクセスすることができ、幅広い学問分野について、自学自習ができます。

WebMailシステム

これまで、学生個人にきたメールは大学内しか参照できませんでした。Web Mailシステムでは、インターネットにつながったパソコンなどがあれば、いつでもどこでも大学のメールを読むことができます。もうすぐ携帯電話にも対応します。



授業

プレゼンテーションのための
資料集めも、学内データベースを
フル活用すれば簡単＆内容充実！

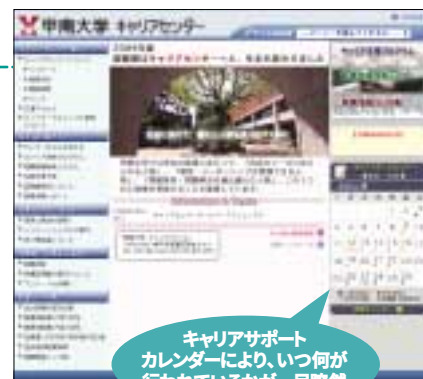


レポート作成やゼミのプレゼンテーションのための資料集めにも、充実の情報環境が役立ちます。インターネットはもちろん、膨大な外部データベースにアクセスすることも可能。また、蔵書検索システム(OPAC)により、本学が所蔵している約77万冊の蔵書から欲しい一冊が素早く検索できます。

キャリアデザイン

キャリアデザインを
実現するための情報を
取り出そう！

早くから将来を考えるキャリアデザインにも、情報環境を活用。ガイダンスやセミナー情報、情報についても見られたり、またキャリアセンターのデータベースには約11,000社のデータが集められており、これを開覧することで目指す企業に就職するために必要なのが見えてきます。



キャリアサポート
カレンダーにより、いつ何が
行われているかが一目瞭然

キャリアセンターHP <http://www.adm.konan-u.ac.jp/cs/>

放課後・帰宅後

授業の予習・復習にはシラバスシステムや
講義内容のコンテンツをフル活用！

「シラバスシステム」は予習復習の強い味方。シラバスII 授業計画の閲覧だけでなく、一部の講義においてはレポート課題などの先生からの連絡事項や講義資料などのWeb教材も掲載されています。また、フォーラムという掲示板も用意。ゼミなどで利用すれば、情報を共有できます。こうした情報は、入学後、情報教育センターから配付されるIDにより、自宅のパソコンからも見ることが出来ます。



WEB履修

平成16年度より、受講届けは前期と後期の年2回実施しますが、後期はWebを使って履修登録を行えるようになります。各自の履修できる授業科目をWeb画面上でひと目で確認できるので登録しやすく、エラーもその場で修正できます。期間内であれば追加、修正が自由に行えます。また、履修登録後は、自分の時間割がいつでも参照でき、もちろんプリントアウトも可能です。

学生ポータルサイト

「ポータル」とは、多様な情報にアクセスする「玄関」「入口」を意味しています。甲南大学では、学修から学生生活まで、さまざまな情報コンテンツが用意されていますが、それらの情報は散在しており、認知度も高いとは言えません。多様な情報へアクセスするための入口はひとつ。それが学生ポータルの目指すところです。メールや時間割など個人の情報へのアクセスもポータルから。毎日必ずチェックいただければ甲南大学のカレントな情報が一覧できるよう情報発信にも努めていきます。

甲南の今後目指す情報サービスとは...

甲南の情報サービスは、これだけではありません。実はいまでも学生の使いやすさを考えて進化し続けています。

キャンパスライフ 充実のコツは 情報サービスの活用にある！

甲南を使いこなそう！

甲南
キャンパス
ガイド

CAMPUS
LIFE
REPORT

4月に入学したばかりの新入生の皆さん、甲南大学の生活にはもう慣れましたか。まだまだという人も大丈夫。実は甲南のキャンパスライフを充実させるには、ちょっとしたコツがあるのです。ここでは情報サービスを巧みに使って満足な大学生活を送っている先輩たちが、そのワザを伝授します。

学内パソコンを使えば
空き時間にレポートを
仕上げることもできます

ノートパソコンが
いつでも借りられるって
あなたは知っていました？

私たちがナビゲートします

INFORMATION NAVIGATOR
法学部法学科 3年次
仲肥 純治さん

INFORMATION NAVIGATOR
法学部法学科 3年次
中谷 有希さん

INFORMATION NAVIGATOR
経済学部経済学科 3年次
長谷 純嗣さん



ノートパソコンの貸出し

無線LANを内蔵したノートパソコンを、最大2週間借りることができます。無線・有線LANが利用できる場所なら、インターネット接続もOK。



自由利用パソコン教室

自由利用パソコン室には、150台以上のパソコンが用意されており、昼休みや講義の空き時間などに学生が自由に利用することができます。

ますます
使える！

サークル登録の
説明会があるんだって
行ってみようか？

登校時

登校したら必ず、
インフォメーションボードをチェック
自分に役立つ情報を見逃すな！



3号館入ってすぐの横長ディスプレイがインフォメーションボード。大学内の各部署から伝えたい最新ニュースを発信しています。また、学生がクラブやゼミなどの情報を発信することもできます。
※投稿の方法については学生部まで

あつ、2限目が休講に
なっているから、
今日は午後から行こう



登録はこちらから(学内端末より)

<http://www2.adm.konan-u.ac.jp/571sys/webuser.html>

登校前

ケータイや自宅のパソコンで
休講情報などを検索できるから
時間のムダが省ける

先輩たちの1日を追いかけて、
充実ライフのコツを探そう！



ハガキで寄せられた疑問を徹底調査

こちら甲南特搜部

今回の
調査依頼

お便りでいただいた皆さまの疑問を、毎回、徹底調査していくこのページ。
今回は国際交流の疑問にお答えします。留学を体験した甲南大生と甲南
で学んでいる外国人留学生に、世界に出る体験が自分にどんな影響を及
ぼしたかを尋ねました。

調査 1

日本を飛び出し、
フランスに出会った

文学部社会学科 4 年次 中島裕子さん

3 年次に、フランスのトゥール大学へ
1 年間留学しました。高校の 3
年間をフランスのトゥレーヌ甲南学園
で過ごしており、帰国後の甲南での学
生生活も楽しく過ごしていました。し
かし、高校時代はフランスの中とはいえ
日本の学校で学んでいたため、国際言
語文化センターの中村典子先生のアド
バイスもあり、今度は本当のフランス社
会に飛び込んで自分を鍛えようと思
い直し、チャレンジすることになりました。
でもいざ留学してみると、ひとりで生
きていくことがこれほど大変なのかと
思うことばかり。最大の難関は言葉で
した。日常会話は大丈夫なのに、授業
になるとまったくわからないのです。
フランスは社会学発祥の地。哲学の
分野まで含まれるため、メディアや家
庭社会を扱う日本の社会学とは視点
がかなり違います。自分の専攻する分
野のほすなのに、初めて目にする単語
ばかりが黒板を埋め尽くし、辞書で調
べて理解するとまた新しい単語が出て
くるという繰り返し。悔しくて心細く
て、ストレスで病気になるしました。
そんな時、助けてくれたのはクラス
メイトでした。必ず私の隣に座って授業
の解説をしてくれた人、ノートを貸し
てくれた人、寮まで毎日教えに来てく
れた人など、たくさんの友達をサポート
してくれました。移民の多いこの国
では普通のことなのかもしれないが、
自分の力で人生すべて上手くいくだろ
うと思っていた私にとって、辛い時に誰
かに支えられ、人を受け入れる気持ち

世界に出会うと、
自分がどんなふう
に変わりますか？

from England
to Japan



は意味がわからなかったけど、今はその
フレンドリーさに魅力を感じています。
甲南生との交流も楽しいですね。ジ
ヤズ研究会でサックスを吹いたり、
EBA の学生に留学時のアドバイスを

相手を優先する日本的心遣いが
視野を広げてくれました



from Japan
to France

異国の人々との共同生活で
人と接する大切さを学びました



が学べたことは大きな収穫でした。ね。
人生を歩くときの心の柱を得たよう
な気がします。この留学を機に、どこで
でも生きていける自信ができました。

調査 2

イギリスを飛び出し、
日本に出会った

リーズ大学イギリス ポール・クレアさん

子 どもの頃から日本に興味があり、
イギリスのリーズ大学では日本語
を勉強 2 年前に日本語と経済学を学
ぶために留学しました。生活は快適で
す。僕のホストファミリーは 10 年以上の
受け入れ経験があるのでなんでも相談
できますし、日本の普通の家庭を体験
できるのでリアルな文化を知るには最
高です。関西弁にも驚きました。最初

したり、スパイスというサークルに英語
の話し方を教えたり。IEC (自治会
国際交流委員会) の人たちと広島や伊
勢などへ旅行にも行きました。中でも
お気に入りのは四国の松山。日本はど
も先進的なイメージがありましたが、
田舎と都会では時間の流れがまったく
違うことを知りました。温泉も大好き
です。

こんないろいろな体験を通して僕が
感じてきたこと。それは、日本人は自
分の考えよりも相手の気持ちを優先
する人たちだということです。僕はイ
ギリスですと自分の意見を一番に考
えて生きてきたので、そんな日
本人の姿勢を知った途端、自分
の視野や考え方が広がったん
です。世界にはいろんな文化
があり、考え方が異なる。日本
人の気遣いは、多様な文化、
考え方をまず聞くこととする
気持ちが必要なのだと思います。
も教えてくれます。

甲南キャンパスから、世界に出会う

甲南大学では多彩な国際交流プランにより、
学生一人ひとりの海外体験をサポートしています。
興味のある在学学生は、ぜひチャレンジしてください。

気軽にチャレンジできる1カ月の短期講座 海外語学講座

●対象派遣校／イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (米国)、
ピクトリア大学 (カナダ)、リーズ大学 (イギリス)、ライプツィヒ
大学ヘルダー・インスティテュート (ドイツ)、トゥール大学 (トル
ーヌ語学院) (フランス)、西北大学 (中国)

1 年間、現地の学生と交じって専門分野を学ぶ 外国留学制度

●対象派遣校／イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (米国)、
ニューヨーク州立大学バッファロー校 (米国)、ピクトリア大学
(カナダ)、カルトン大学 (カナダ)、リーズ大学 (イギリス)、ト
ウール大学 (フランス)、リヨン第三大学 (フランス※理工学部
は除く)、ベルリン・フンボルト大学 (ドイツ)、マードック大学 (オ
ーストラリア)、ワイカト大学 (ニュージーランド)

国境を越え、世界と交流を深める船の旅 大学洋上セミナーひょうご

●期 間／8月14日～9月12日
●訪問地／バリ島 (インドネシア)・パース (オーストラリア)
シンガポール・広州 (中国)

毎年50人以上の
外国人留学生を受け入れ
キャンパス内で世界各国の
文化にふれられる



出願資格、学校情報などの
詳細はこちら

国際交流センター

TEL : 078-452-1641 FAX : 078-435-2557
開室時間 : 月～金 / 8:45～18:00 土 / 8:45～13:00
URL <http://www.konan-u.ac.jp/kiec/>

※「大学洋上セミナーひょうご」の問い合わせは教務部まで

誌面作りに対する 「ご意見・ご感想」

「IBER」の研究分野をはじめ知りました。
今後とも経済や社会のシステムに活用で
きる活躍を大いに期待しています。
(93 年卒・男)

理学部応用物理学科にいた頃の太田先生
力作のテキスト (膨大なプリント集) を思
い出し、感慨深いです。以前よりお年をと
られましたが、品格が漂うように見られて
大変うれしく思いました。読んでいて私
自身「生きるヒタミ」を摂取できた気
がします。(00 年卒・男)

「甲南キャンパス周辺ガイド」がよかったです。
卒業後もどんどん変化している甲南周
辺です。何となく昔の名残も発見で
きて面白かったです。(98 年卒・女)

今度、岡本周辺に行く時には、昔の風景を
思い浮かべながら歩けそうです。あと、甲
南大学をモデルにした小説やエッセイなど
を掲載してほしいと思います。(98 年卒・女)

今回掲載されていた一般参加できる講義
やイベントは大変興味深かったです。また、
どのような内容かも詳しく教えてください。
(97 年卒・女)

クラブつながりレクシオンを読み、松岡功氏
を中心としたテニス部黄金期、同期生とし
てラグビー部に籍を置いていた時代に思い
を馳せ、懐かしく読ませてもらいました。
各体会の歴史と活躍された内容などを
レポートしてください。(57 年卒・男)

甲南で働いている職員の方々は、どうい
う仕事をしてられるのですか。私も同級生も卒
業後、大学職員になりました。できれば私
たちの仕事内容の違い、職場での雰囲気
の違いを比べてみたいと思います。
(98 年卒・男)

図書館の利用などは卒業生も借りられる
のでしょうか。利用出来るとしたら時間な
ど詳しく教えてください。(62 年卒・女)

あなたの声で、このページを、
つくりませんか？

「こちら甲南特捜部」は皆さまのお
便りをもとに構成するページです。
日頃から甲南大学に対して感じてい
た疑問を、どしどしお寄せください。
また、誌面作りに対する「ご意見・ご感
想」もお待ちしております。



▲50周年記念パーティ(2003年)



▲第43回全日本大学野球選手権大会開会式
(1994年6月 神宮球場)



▲創部直後、初リーグ戦で優勝(1955年6月 西宮球場)

硬式野球部

体育会

文化会

茶華道料理部道心会

初代学長荒勝先生が開き、 女子学生の想いが綴った50年

60年代に入ると彼女たちの活動はさらに範囲を広げる。華曲に続き、茶道部門を取り入れ、60名程の部員の大所帯となる。茶道部門に籍をおいた67年卒の木下さんは「部室は、大学構

「学友会では趣味的な部を認められない」という声もありましたが、何とか認めてもらい、女子学生全員が部員となり、部活は和気あいあいとした楽しい雰囲気でした」と語る55年卒の上原さん。男子学生が9割を占める中で、女子学生だけで集って行う活動はどこか異色な存在だったろう。58年卒の緒方さんは「作ったことのない料理を習えるのが新鮮でした」と語る。その後も大学祭ではジャガイモでこれだけの料理ができるのかを研究発表したり、活発な活動が繰り返された。

茶道・華道・料理の3部門からなる茶華道料理部道心会。「道」と付くだけに、伝統や格式重視と思われるそうだが、このクラブは少し気風が通う。第一その始まりが型破りだ。それは開学から2カ月を経たある日のこと。初代学長・荒勝文策先生が、新制甲南大学1期生となる女子学生全20名を学長室に招待して、「本学のカリキュラム以外に何か学びたいことはありますか」と尋ねられた。女子学生たちは「知識だけでなく女性としての教養を身につけたい。例えば、大学で料理などが習えれば…」とお願

3位。この自信を追い風に、秋は優勝をかけて強豪・大阪学院大と2連戦の直接対決。「部員数が少ないのはウチの強みでもある。結束力では負けない。71年卒の川島さんの言葉通り全員が力を合わせ1戦目を勝利。2戦目も互いに譲らなかつたが7回に大量得点して制したかに思えたが、日没となり、この得点は無効にな

これをを受け、成蹊大との定期戦をはじめ、堰を切ったような活動が始まる。2部スタートというもどかしい制度があつた近畿六大学リーグなどへの加盟を蹴つて、大商大・神戸商船大と三大学で独自の阪神リーグを結成。初のリーグ戦では、関西で実力を伸ばしていた大商大を破つて初優勝し、創部初の栄冠を手にし、初期の10年間に6回の優勝を遂げている。61年卒の中村さんは「勝つてはいたが環境は悪かつた。グラウンドは準硬式(現在は軟式)野球部と2時間交代で使われ、高校も使っていたので、十分な練習が不可能。他のグラウンドを転々と借りながらの活動でした。それでも頑張れたのは、父母会やOBの温かい励ましに恵まれたおかげです」と快進撃の秘密を語る。

硬式野球部の歴史の幕開けは決して華々しくなかつた。体育会予算が少なかつた開学当初は、多額な予算を必要とする部は承認されず、15名程の有志の同好会としてスタートしたのだ。「1日でも早く体育会に認められたかつた」と語るのは、57年卒の濱田さん。当時は全員がその想いを糧に活動し、京大や神大、社会人との練習試合で実績を培うことを怠らなかつた。その努力に加え、旧制甲南の野球部OBらの支援に励まされ、やっと彼らの思いは実を結ぶ。体育会硬式野球部の創部だ。

苦境続き——でもリーグ優勝10回 目標は常時リーグ戦上位進出

た。結果的には1戦目を制したことで9シーズンぶりの優勝を勝ち取つた。しかし74年頃からは低迷期が訪れる。4年間で1部と2部の入替え戦を5度も経験。「まさに瀬戸鴨」とにかく1部の座を死守することで必死でした」と、苦境と闘つた日々を思い起こす78年卒の後藤さん。

トンネルの先に明かりが見えたのは、専用グラウンドが完成した翌年の87年。OB会の推薦を受けて同年卒の谷口さんが監督に就任。春季リーグ戦では準優勝を遂げる活躍ぶりを見せた。谷口さんは「最終回にスクイズのサインを出せなかつた私の迷いが敗因。自分の采配が勝敗を分けてしまつた」と、いまなおその悔しさを忘れられないと言ふが、優勝の栄冠をかけて戦つた経験は、部を一つにまとめるに十分だった。この後、部員だけでなく監督、OBが「一丸となって奮起。93年の秋にはついに50季(25年)ぶりで優勝。翌94年の春にはリーグ2連覇に続き、悲願の全国大会出場を果たし神宮球場の土を踏んだ。主将としてチームを率いた95年卒の白石さんは「練習だけでなく、重ねたミーティングの数も数えきれない。試合を重ねることにまとまりができ、チームが強くなつていくのを実感しました」と、当時の充実ぶりを語る。

その後、95年の秋季リーグで優勝を果たすが、98年以降は2部に甘んじることが多い。しかし、このままでは終わらない。部員、OBが一丸となり、目標の「常時リーグ戦上位」「再三の神宮球場進出」に向かって苦境を乗り越え、きつと輝きを取り戻すことだろう。



内にあつた純日本家屋でした。一般学生に、日頃の成果であるお点前を披露する五月会を催したのが懐かしいです。京都・奈良の由緒ある寺での茶会もよく行きました。縁あつて旧制甲南時代の丸山校長のご親族を先生にお迎えすることができ、一層稽古に励む。

71年には、華曲が独立し、華道が加わつた。現在の道心会の形が作られる。この頃の活動の様子が多岐にわたる。74年卒の林さんは「一般学生対象に料理講習会を開き、その試食会では体育会の男子学生を招待しました」と、ますます自発的な活動を語り、76年卒の位原さんは「茶道部門では、先生が茶室を退室される際は、姿が見えなくなるまで正座で見送るのが決まりでした」と現在も続く礼節に厳しい一面を語る。

99年には、一つの大きな転機が訪れた。名称を茶華道料理部道心会に改名。女子学生だけのクラブが、男子学生の入部も積極的に受け入れ始める。創部以来初となる男子の部長の花戸さんは「礼儀作法や伝統はもちろん大切。でも、道心会ならではの自由な気風を生かして、部門間で協力し合い、何か新しい活動に取り組んでいきたい」と意欲を語ってくれた。そんな言葉通り新たな試みは始まっている。茶道部門の初釜では料理部門が協力して懐石料理の任を担つた。茶道・華道両部門は、台同で留学生に日本文化体験の場を提供している。さらに昨年の創部50周年パーティでは、華道部門が会場を飾り、茶道部門のお点前と料理部門の手料理で卒業生先輩諸氏をもてなした。伝統や形式にとられない柔軟な発想から、次はどんな取り組みを見せてくれるのか。道心会の活動に興味がある。

【創部】1955年
【部員数】61人(2004年4月現在)
【主な実績】

1953	硬式野球同好会発足
1955	硬式野球部創部、「阪神大学野球連盟」設立・加盟。同年6月、第1回(春季)リーグ戦優勝
1957	OB会「かぶと会」発足
1958	春季リーグ戦優勝
1959	秋季リーグ戦優勝
1960	春季リーグ戦優勝
1962	「関西大学野球連合」設立
1963	春季リーグ戦優勝
1964	春季リーグ戦優勝
1968	秋季リーグ戦優勝
1974	春季後2部降格。秋季は2部1位
1975	春季に1部復帰
1978	OB会「かぶと会」を「甲南大学野球部OB会」に改組
1982	春季「関西大学野球連合」5リーグ並列制に改編
1984	「甲南大学野球部OB会」を「甲南大学硬式野球部OB会」に再編
1988	春季後2部降格。秋季は2部1位
1989	春季に1部復帰
1993	秋季に50季ぶりのリーグ戦優勝
1994	春季リーグ戦優勝/第43回全日本大学野球選手権大会に初出場(1回戦敗退)
1995	秋季リーグ戦優勝
1996	甲南大学硬式野球部創部40周年記念式典挙行
1998	春季後2部降格。秋季は2部1位
1999	春季2部リーグで1位。秋季に1部復帰
2000	春季に2部降格
2002	春季後2部降格
2003	春季・秋季2部リーグ1位
2004	春季2部リーグ戦中

取材に出席された方／濱田邦夫さん(57経卒)、中村良造さん(61文卒)、藤田順雄さん(61経卒)、川島明夫さん(71営卒)、後藤盛次さん(78営卒)、谷口純司さん(87営卒)、白石重次さん(95営卒)、田原洋之さん(99経卒)、学生・辻野拓也さん(迄4)、三木勇輝さん(理工4)

50周年式典開催のお知らせ
【開催日】2005年2月13日(日)
【場所】阪神ハイシェラトンホテル

【創部】1952年
【部員数】42名(2004年1月現在)
【主な実績】

1952	女子学生クラブ創立。当時は女子学生全員が入学と同時にこのクラブに所属した。料理研究会設立。初めて茶会を開催。
1957	女子学生数の増加から女子学生全員がクラブに所属することなく、料理・華曲・茶道をやりたい女子学生が集うクラブ運営をしていく事になる。この頃より師範について稽古し、クラブ員は三部門のすべてに属した。
1960	茶道部門を正式に設置。
1961	部員70名に達す。
1969	茶道部門の3回生が茶道同好会と合流。
1971	文化会館に部室を置き、文化研究室に練習場をもつていたが、文化研究室(今の学生会館の場所)にあつた民衆の立ち退きを条件として学生会館1階に入居。
1999	華曲部門独立。(邦楽研究会へと発展)
2003	華道部門設置。これより料理・茶道・華道の三部門からなるクラブとして活動を行う。

茶華道料理部道心会に改名。これより男子学生の入部が可能となる。創部50周年記念式典・パーティを開催。



▲創設時より続く会報「くれ竹」

取材に出席された方／上原雅子さん(55理卒)、緒方雅子さん(58文卒)、木下佳志子さん(67文卒)、林恵子さん(74文卒)、位原美智子さん(76法卒)、学生・花戸明洋さん(経4)、濱口愛子さん(文3)、杉田裕子さん(文3)、吉田香織さん(文2)

本校独自の活動の一つに、毎週水曜日の午後に行なわれる「総合学習」の授業があります。総合学習自体は、日本の学校でも行なっていますが、授業の内容が「フランスならでは」な活動内容は、下記の通り多岐に渡っており、いずれも生徒たちが自主的にアイデアを出し、自ら運営します。もちろん、授業ですから担当の先生がつき、成績も出します。「積極性」「創意工夫」「計画性と実行力」などが重要なポイントで、点数ではなく先生方の生徒一人ひとりに対するコメントが、評価として年度の終わりに各生徒に伝えられます。国際人として活躍するためには、これらの能力は必要不可欠ですから、生徒たちは自分の好きなテーマを通して、真剣に討論し、調査し、発表し、まとめを行なっています。今回はこの総合学習の中から、『日本クラブ』を選び、紹介しましょう。

『日本クラブ』はその名の通り、「フランス人に日本を紹介するクラブ」です。本校のあるサン・シール市には、日頃から本校生がお世話になる機会が多いため、日本に興味関心を抱いている方々が少なくありません。そういった方々を対象に、日本について知ってもらうためのクラブを設立し、日本をより理解していただくための活動が行なわれているのです。

メンバーは中等部1年生から高等部3年生までの約10名。フランス人の会員は20名ほどおられ、毎回7〜8名が来られます。日本について紹介するのは意外と難しく、我々が当たり前と思っていることが、実はフランス人には大変興味深いものであったりするので、毎回テーマを慎重に選び、紹介の方法を真剣に考えています。その上、発表は当然全てフランス語。準備が大変なので、フランス人に来ていただくのは2週間、1度としていますが、それでもきりぎりで、生徒たちは毎回うふうふ言いながらやっています。

総合学習活動例

- 【チーズ研究】チーズの本場フランスでチーズの種類から製法まで研究します。
- 【お菓子研究】菓子職人目指して料理学校で学んでいる生徒がリーダーとなって、フランスの菓子作りに挑戦しています。
- 【ファッション研究】日仏のファッション比較。感覚の違いをアンケートなどで探ったりしています。
- 【トゥール研究】一時フランスの首都でもあった歴史の街トゥールを隅々まで調べます。
- 【お城研究】トゥールはロワール沿いに点在する古城巡りの拠点となる町。その地の利を生かし、観光客が訪れないようなお城などにも足を運んで研究しています。
- 【映画研究】フランス映画などをフランス語で鑑賞し、評論を書いたりしています。
- 【環境問題研究】古来の自然が保たれているロワール川流域の環境を中心に調べています。
- 【日本紹介】フランス人に日本について知ってもらうためのクラブ「日本クラブ」を運営しています。

これ以外にも、本校のホームページやビデオを作成している「学校紹介グループ」や、サンシール市の姉妹都市であるセネガル・クサナール市への援助を目的とした「トゥレーヌ児童基金」、英語で演劇をする「英語劇グループ」他、多くの活動があります。



散らし寿司でお食事会



こんな些細なことから、きつと本当の国際理解は始まっているでしょう。

伝えることで、見えてくる文化がある

授業でフランス人に日本文化を紹介

「日本人の日常生活・生活時間帯を中心に」「漫画」「日仏お城の比較」「日本のお菓子」「交通事情」「携帯電話事情」「コンビニ」「日本の学校生活」などですが、どの内容もフランスの方々にとっては驚きの連続。会員の方々には毎回満足して頂いているようです。ちなみにフランス人が驚いたことのいくつかを挙げてみます。

- リンゴを1つ1000円で売っている
- ローレックスなどの高級ブランド品が、バーゲンで3割引になる
- 夕食を家族揃って食べない
- 日本のお城はほとんどコンクリートで建て替えられている
- 豆を甘くして食べる（蚕桑のこと）
- 24時間営業の店がある
- 教室で給食を食べる

などですが、どれも日本人には当たり前のことなので、逆に生徒たちにとってもいい勉強になっています。

そして、学期の区切りごとに「日本料理」の紹介を兼ねて、みんなで日本食を作り、一緒に食事会をすることもあります。昨年は「親子どんぶり」「鳥鍋」「散らし寿司」を紹介しました。生徒たちの作る日本食は、なかなか好評で、会員の方たちも毎回楽しみにしてくださいます。



あなたの「自学自修」を教えてください！

- 最優秀賞** 僕の夢は小説家。この機会に、自分だけの世界の創造に挑戦しました。
『小説：平凡にして怪奇』金山 修司 君 甲南中学校2年生
原稿用紙1,250枚の大作！
- 優秀賞** 大阪を舞台に栄華を築いた豊臣氏の軌跡を調べました。今後は世界史にも目を向けたい。
『豊臣氏の栄華と衰退』南 友樹 君 甲南高校1年生
- 優秀賞** 複雑なロボット仕組を研究。将来工学の道に進むためにこの学びを生かしたい。
『ロボットとセンサー』設楽貞登 君 甲南中学校3年生
- 優秀賞** 築城の足取りをたどると人々の営みや文化が見えてきて驚きました。
『大阪城』清水厚貴 君 甲南中学校2年生
- 優秀賞** 「ルードヴィヒ・ファン・ベートーベン交響曲第五番 八短調作品67」小原 裕之 君 甲南高校1年生
- 優秀賞** 「毒ガス」前中 公環 君 甲南中学校3年生
- 優秀賞** 「関ヶ原の合戦」山本 航平 君 甲南中学校3年生
- 優秀賞** 「織田信長と家臣たち」横江 俊也 君 甲南中学校3年生
- 優秀賞** 「手塚治虫」武田 一孝 君 甲南中学校3年生
- 優秀賞** 「ロボットの制作 自立型ロボット」小曾根 知晃 君 甲南中学校2年生
- 優秀賞** 「名将 武田信玄」都間 昂人 君 甲南中学校2年生

ただし、甲南高・中の考える「自学自修」とは、単に学力不足を補うことだけを目的としているのではありません。ここで大切なのは、何よりも生徒が各

自の意志で休日を活用し、進んで学び得ることです。テーマは、科目の予習・復習だけでなく、創立の精神となっている徳育・体育・知育にあてはまる領域であればどんなことでもOK。自らの調べ学習でも読書でもかまいません。地域や企業のボランティア活動に参加したり、劇場や博物館、美術館に足を運んで自分なりの発見や感想をまとめたり、クラブ活動を充実させるための筋力トレーニングや技術向上に励むのもいいでしょう。

戦国時代の武将に関心のある一人の生徒は、その人物に関わる遺跡や博物館に足を運び、情報を集めるだけに終わらず、人格の分析など自分だけの研究に発展させていきました。ソニーのAIBOにひかれたある生徒は、戸惑いながらも自分で調べ、障害物を回避するロボ

ットを設計・製作しました。あるいは、クラシック音楽を取り上げて、同じ曲が指揮者によってどれだけ印象が異なるかを分析した生徒もいます。

とにかく先生から課題を与えられるのではなく、生徒それぞれの興味や関心に基づいてテーマを見つけ、自ら追究し、発見・分析した結果をまとめ、それを表現していくことで、受験に必要な学力だけでなく、大学の学びやその後の社会でも生きる本質的な力を養成することが真の狙いです。

また本学では、こうした活動を活性化するため、一人ひとりに進め方を指導するだけでなく、その結果をまとめてレポートしてもらうようにしており、とくに優秀と認められたものについては表彰する機会を設けています。

休日を利用した学びを奨励 自発的に動く力を身につける

自学自修の実践

学校週5日制となり、「ゆとり教育」が進められる現在の中学校、高等学校の教育現場では、基礎学力の低下を心配する声も決して少なくありません。そこで甲南高・中ではこうした懸念に応じた取り組みとして、昨年度から「自学自修」の奨励を行っています。これは生徒一人ひとりが休日となる土曜日・日曜日のゆとりの時間を生かして行う自発的な学びです。

学習の進め方

- 『甲南スチューデントハンドブック』に記されたホームページを開く
A. 見てみたいホームページをひらく
B. 興味を持った内容があれば、さらに深く見ていく
C. 興味を持った内容がなければ別のホームページを開いてみる
- 学びたい、体験してみたいと思ったことを自分の学習テーマにする
- 自分の学習をどういった成果にまとめるか決める
- テーマに基づいて調べ学習を進めたり、地域や関係機関の活動に参加する
- 学習したことを思い思いの形で成果をまとめる
- 発表・表彰

集いて、群れず。それが世界に 通用する個を育む、甲南の個性

須磨 久善さん 1968年甲南高校卒業



PROFILE◆須磨 久善(すま ひさよし)氏

1968年に甲南高校を卒業後、医師をめざし大阪医科大学に入学。74年同大学卒業後、虎ノ門病院外科、順天堂大学胸部外科、母校の大阪医科大胸部外科(84年米国ユタ大学心臓外科留学)などを経て三井記念病院循環器外科科長、心臓血管外科部長などを歴任。その後、ローマカトリック大学心臓外科客員教授、湘南鎌倉総合病院副院長、同病院院長を歴任し、2000年より葉山ハートセンターの院長就任。2001年1月16日、NHKのプロジェクトX「奇跡の心臓手術に挑む天才外科医の秘めた決意」で、医師としての不屈の使命感と、その足跡が紹介された。

存在します。そんなときに思うのは、自分は教科書に書いてあることをするために医者になつたのではなく、医学を通じて喜んでもらうという原点です。例えば教科書で“この病気は治せません”とあっても、私自身が納得できなければファイナルアンサーにはなりません。どうすればこの人を助けることができるのかと考えてときには海外で新しい手術をした人に話を聞いたり、世界初の手術を独自で考えたりしました。NHKのプロジェクトXで紹介された日本初のバチスタ手術も、特別なものではなく、その事例のひとつに過ぎません。

イメージを明快に描く。人生も同じ

外科医、とくに手術のときは瞬間、瞬間に正しい決断をしなくてはなりません。これはスポーツにも例えることができます。例えば野球で絶対ヒットを打たないといけない“二発”のとき、バットボックスに立ち、直球、あるいはカーブか、相手のピッチャーが次にどんな球を投げってくるのかをイメージする。だいたいイメージ通りであればヒットを打つことができますし、もしイメージと異なる球であっても、体を開くタイミングを変えるなど、とさの対処もできます。手術もこれに似ています。まずこういう手術

第一線で活躍する卒業生に、甲南時代の思い出や人生のヒントをおうかがいするこのコーナー。今回は、葉山ハートセンターの院長であり、世界的な心臓外科医でもある須磨久善さんを訪ねました。30代で心臓の冠動脈のバイパスに、患者自身の胃の動脈を用いるという世界初の画期的な心臓外科手術に成功され、その後も、世界初の手術を幾度も行われている須磨さん、NHKのプロジェクトXで紹介されたように、日本で初めてのバチスタ手術も手掛けられました。またバチスタ手術の成功率は極めて高く、「神の手」を持つ心臓外科医と称されています。今回はそんな須磨さんに、ご自身の原点や考え方についてお話しいただきます。

甲南時代の想いが、医者としての原点

私が甲南中学を選んだキッカケは、甲南が自由な気風を持っていたからかもしれない。みんなとげとげしい感じがなく、伸び伸びしていましたね。やんちゃなヤツはいたけれどどこか気持ちのやさしいところがあつた。

また、ほとんどの生徒が甲南大学に進学するため、中学に入ってから「どの大学に行きたいか」というのではなく「どういう社会人になりたいか」を考え始めました。当時は千レツ社員が全盛で、人を押しのけて、蹴落として上に登っていく、そんな時代でしたが、私はそういうことが苦手で、もっと人間同士、対一の小さな関係の中で社会的に役立つことをして暮らしていけたらいいなと考えていました。人を押しつけ、やつつけて生きていくのではなく、人に喜んで

をすると頭の中できつちりとイメージする。

実際に手術室で心臓を見るとき必ず予想と違うことがいくつかあつて、それにどう対応していくかを迅速かつ正確に判断、実行していく。最初にイメージが明確に描けていないと、予想と違う箇所があつても、正確な判断ができません。実は、これは人生にも当てはまります。

まず自分の人生の目的やゴールをイメージして、いま何をしないといけないかを逆算し、そのための技術や方法を身につける。そうすればたいがいいいことはうまくいきます。大切なのは、気分には流されず、その機会、機会ごとに学んでいくこと。そうすれば、チャンスの確率が上がっていくと思います。

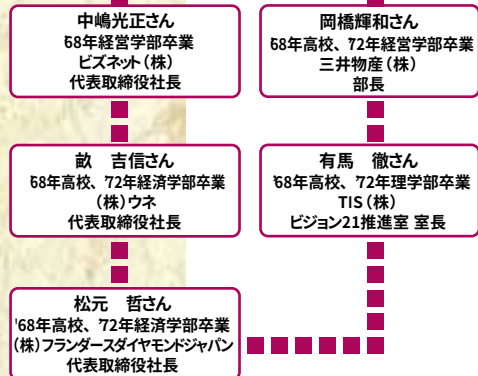
いろいろな個性が集まる甲南で 世界に通用する個を磨いてほしい

私が感じる甲南らしさですが、一言でいえば、社会的に格好いい大人が多いですね。甲南時代の仲間は今も50歳を過ぎていますが、みんな少年の心を持つていて格好いいですよ。また、一人ひとりが、型にはまらない個性を持っているというイメージがあります。

ひと昔前は人と違うことは良くないという時代もありましたが、いまはサムシングディファレントが賞賛のひとつとして認められる時代です。いまの甲南生には、自分の個を大切に育て、外へアピールしてほしいですね。自分はこんな人間で、こんなことができると、自分をアピールできるスキルを身につけるとインターナショナルで活躍できます。これからはいい日本人であると共に、いい国際人でないといけません。

集いて群れず、甲南といういろいろな個性の集まりの中で、世界に通用する自分の個性を磨いてください。

須磨さんの 甲友録



須磨さんが院長を務める世界の心臓外科の最先端の医療施設「葉山ハートセンター」。院内のさまざまなところに絵が飾られ、木を基調にした温もりのある雰囲気は、患者さんの気持ちを第一に考える須磨さんのコンセプトが活かされている。また全病室から海が望める設計となっている。

もらつて生きていきたいらいいなど。そんなことを考えてみつけたのが「医者」という選択でした。医者とは人を相手にする職業なので、ひとりぼちが嫌いな私にはぴったりでした。
“人に喜んでもらいたい”という想いは、いまでも医者としての私の原点です。

すべての患者さんに喜んでもらいたい

私は人がやったことのないさまざまな手術に挑んできました。そのすべての原点は人にありがとうと喜んでもらえることがしたいということです。医学はあくまでそのためのツールです。私の目の前の患者さんすべてに喜んでもらいたい。だけど、いま世の中にある知識や技術では、どんな病気でも治せる訳ではありません。残念ながら何をやっても効果がないといわれる病気も



右:心臓外科医 須磨久善
課外授業 よこそ先輩 別冊
NHK「課外授業 よこそ先輩」
製作グループ+KTC中央出版 編
KTC中央出版 ¥1,470(税込)

左:プロジェクトX ザ・マン
すべては感動からはじまる
須磨久善、高野甲子雄
山口良治、今井彰 著
日本放送出版協会 ¥1,050(税込)

須磨さんの偉業を記した2冊を、
それぞれ2名の方にプレゼントします。
詳しくはP25をご覧ください。

2003年度学位記・卒業証書授与式

3月25日、講堂兼体育館で、学位記・卒業証書授与式が行われました。今年は、学部学生2,157名、大学院生87名が卒業修了しました。吉沢英成学長の式辞、池上吉蔵理事長の祝辞、そして自治会中央委員会の堀由奈委員長の送辞のあと、法学部の宮本一広さんが答辞を述べました。

甲南高等学校は2月14日、トゥレーヌ甲南学園高等部は3月2日に卒業式を行いました。



2004年度入学宣誓式

4月1日、講堂兼体育館で、大学入学宣誓式が行われました。今年は、学部生2,148人、大学院生100人、法科大学院生63人、編入生9人が入学しました。まず、杉村芳美学長から平生先生の言葉を引いた激励の式辞、池上吉蔵理事長の祝辞に続いて、大学院を代表して自然科学研究科物理学専攻の上田奈津子さんが、法科大学院を代表して松林清文さんが、学部を代表して経済学部

夢・化学―21 甲南大学理工学部 一体験化学教室

甲南大学理工学部機能分子化学科の先生や大学院生の方たちと一緒に化学実験を体験してもらい、日常生活と最先端技術の関わりに触れていただくチャンス。機能分子ってなんだろ？一度体験してみたい！と思っ方は奮ってご参加ください。

【日時】8月21日(土) 10時～15時30分
【場所】7号館(理工学部棟) 機能分子化学科各研究室
【プログラム】

- 午前 機能分子化学科施設見学会
- 午後 体験化学教室実験

- 1 電子顕微鏡を使ってナノの世界を観察してみよう
- 2 割れやすいガラスを強くしてみよう
- 3 健康の大敵・活性酸素を分解しよう
- 4 遺伝子に色をつけてみよう
- 5 PEIポトルからミレナル酸をつくらう
- 6 水資源をきれいにする高分子を合成しよう
- 7 納豆から生分解性ポリマーを取り出してみよう
- 8 ミネラルウォーターの硬度を測ってみよう

【対象】高校生(卒業生および教員の方も歓迎します)
【参加費】無料(ただし昼食は各自持参ください)
【申込締切】7月5日(日)
【定員】50名

【申込方法】官製ハガキにて一人一枚「甲南大学 一体験化学教室」と横記し、氏名フリガナ、住所郵便番号、電話番号、学校名、学年、希望実験テーマ番号(第3希望まで)を明記して左記宛にお申込ください。
※実験テーマは「希望に添えない場合があります」。

【申込先】
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
甲南大学理工学部機能分子化学科 町田信也
電話 078-4335-2563
FAX 078-4335-2539
<http://www.chem.konan-u.ac.jp/yume/>

第135回 現代講座
【講演者】 尼子晴兵衛氏(漫画家)
【テーマ】 「果報は寝し待ち」
【日程】 5月29日(土)
【開場】 14時 【開演】 14時30分
【場所】 1号館4階142講義室 【入場料】 無料
【共催】 甲南大学自治会中央委員会現代講座実
施委員会、甲南学園広報部

経済学科の土肥祐貴さんがそれぞれ入学を宣言。そのあと、文化会のグリークラブと女性合唱団アモロソがリードして、学園歌を斉唱して式を終えました。甲南中学校は4月8日、トゥレーヌ甲南学園は4月9日に入学式を行いました。



体育会50周年植樹

甲南大学体育会は、昭和28年に学友会運動部が発足して以来、50周年を迎え、昨年8月に神戸国際会館こさいホールにて記念式典を開催しました。また、本年3月18日(木)、岡本キャンパスグラウンド東側において、吉沢英成学長、小林均学生部長、西村繁治実施委員長、藤澤光介体育会本部委員長ら関係者約40名の出席のもと、50周年記念植樹式が執り行われました。諸先輩が築いてきた歴史に感謝と敬意を込め、体育会ならびに甲南大学の新たな発展に思いを込めて桜を植樹しました。



陸上競技合同練習会開催

3月28日、体育会陸上競技部員が六甲アイランド体育施設陸上競技場で神戸市、明石市、尼崎市、川西市、宝塚市、神崎郡在住の陸上競技部に所属する中学生93名と高校生124名を指導しました。

この合同練習会は、地域との交流を図り、陸上競技の発展に貢献し、また、同陸上競技部員の競技姿勢の向上を図る目的で行われました。

学費(大学・大学院)の特別猶予願について

家計の事情などにより期限内に学費の納入が困難な場合は、学費猶予制度を利用することができます。申し込みは、原則として保証人が申し出る必要があります。猶予を希望される方は、学生部厚生係で「学費特別猶予願」の用紙を交付してもらって、申請してください。提出期限は左記のとおりです。

	期間・期限	前期分	後期分
特別猶予願	願書提出期	5月1日～5月31日	10月1日～10月31日
	猶予期限	9月10日	翌年1月10日

注1/ 上記期限を超えての再猶予は認められません。
注2/ 上記の猶予期限内に学費を納入しない場合は、「除籍」になりますので、注意してください。

キャリアセンターからのお知らせ

1～2年次生向けセミナー	5月19日(水) なぜ簿記、パソコン、英語の勉強は将来役にたつのか？ 情報化社会に必要な人材？初級システムアドミニストラータなど
5月24日(日)	現役実務者(国家資格者)からのアドバイス(JOBは人生のはじまり！)
5月31日(日)	会計士 その魅力と可能性！ 税理士 広がり続ける活躍のフィールド！ 英語を使った仕事をを目指す人のためのセミナー(実践編・あなたは国際人！)
6月2日(水)	ビジネスで求められるIT活用能力とは？(タッチタイピングWORD、EXCELは新三種の神器)
6月16日(水)	金融業界の求める人材、スキルとは？(ファイナンシャルプランナー、宅地建物取引業主任者の仕事)
6月21日(月)	法律系(仕事、資格、就職)総合ガイダンス(弁護士、パブリック、裁判所事務官、企業の法務部員になるためには？)
7月2日(金)	旅行業界事情(旅行業界の裏側教えます)
7月5日(日)	貿易の仕組み(貿易ビジネス早わかり)
3年次生ゼミナール・就職講座	5月20日(水) 就職準備講座(業界・職種研究)
6月3日(水)	就職準備講座(履歴書)
6月10日(水)	就職準備講座(SPI基礎)
6月17日(水)	就職準備講座(集団討論)
6月24日(水)	就職準備講座(四季報の活用方法)
7月・11月(水) 各種業界講座	※日程などについては変更する場合があります。



<http://www.adm.konan-u.ac.jp/cs/>

ここをクリックしてください

卒業生のみなさまへ
—— お願い ——

キャリアセンターでは、在校生がより多くの正しい情報をもって就職活動ができるようOB・OGのみなさまにホームページ上でアンケートをお願いしています。ご協力いただきますようお願いいたします。

甲南大学の教員と卒業生が執筆した
新刊レビュー

司法通訳
Q&Aで学ぶ通訳現場
渡辺 修 (法科大学院教授)
長尾ひろみ、水野真木子 著
松柏社 ¥2,100 (税込)

脳卒中リハビリ奮戦記
藤本達夫 (経済学部教授)
藤本芳子 著
ミネルヴァ書房 ¥2,310 (税込)

21世紀の情報英語
The Adventures of ROBO-TA
田中雅博 (理工学部教授)
東 淳一、竹田 園、市川郁子 著
講談社 ¥2,310 (税込)

**孤独になった
アインシュタイン**
グーテンベルクの森
佐藤文隆 (理工学部教授) 著
岩波書店 ¥1,890 (税込)

世の光、地の塩
— 私学人 尾崎八郎物語 —
近藤隆己 (1998年文学部卒) 著
教育出版ユーデック ¥1,800 (税込)

アメリカの政治地図
— 地政学と人脈で読む国際関係 —
園田義明 (1988年経済学部卒) 著
講談社現代新書 ¥756 (税込)

中級中国語 会話スキット24
胡金定 (国際言語文化センター教授)
吐山明月 著
同学社 ¥2,730 (税込)

国際言語文化センター
夏期社会人講座「異文化の壁」

- 【日程】7月24日(土) 9時30分～15時15分
【場 所】142講義室
【プログラム】
●1時限 ポール・ロス助教
「異文化理解について」(仮題)
●2時限 藤原三枝子助教
「多民族都市ベルリンに生きる」(仮題)
●3時限 シンシア・クイン講師
「異文化」ミニセッション・アメリカ人の「ミニ」セッションスタイル
●4時限 石井康二講師
「中国のテレビドラマに見る歴史と文化」
【対 象】社会人(高校生以上)
【定 員】約300名
【受講料】2,000円(消費税・配付資料費を含む)
【申込締切】7月7日(水)から募集開始
定員になり次第締切
【申込方法】往復ハガキに「社会人講座申込書」と書き、住所・氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を、また、返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申込みください。
【問い合わせ先】国際言語文化センター事務局
078-435-2326
- 【日程】9月25日～12月4日までの毎週土曜日(全10回) ※12月11日予備日
【場 所】6号館マルチメディア教室
【プログラム】初級英会話①②、中級英会話③④、ドイツ語初級者、ドイツ語既習者、フランス語会話・中級、フランス語会話・上級、中国語入門・中国語「ミニ」セッション、韓国語入門者(会話中心)、韓国語既習者(会話中心)
【対 象】社会人及び学生(高校生以上)
- 【日程】9月25日～12月4日までの毎週土曜日(全10回) ※12月11日予備日
【場 所】6号館マルチメディア教室
【プログラム】初級英会話①②、中級英会話③④、ドイツ語初級者、ドイツ語既習者、フランス語会話・中級、フランス語会話・上級、中国語入門・中国語「ミニ」セッション、韓国語入門者(会話中心)、韓国語既習者(会話中心)
【対 象】社会人及び学生(高校生以上)
- 【日程】9月25日～12月4日までの毎週土曜日(全10回) ※12月11日予備日
【場 所】6号館マルチメディア教室
【プログラム】初級英会話①②、中級英会話③④、ドイツ語初級者、ドイツ語既習者、フランス語会話・中級、フランス語会話・上級、中国語入門・中国語「ミニ」セッション、韓国語入門者(会話中心)、韓国語既習者(会話中心)
【対 象】社会人及び学生(高校生以上)

- 【定 員】各クラス約20名
【費 用】受講料15,000円(英語・ドイツ語・中国語・韓国語、25,000円)フランス語
【申込締切】8月30日(月)から9月8日(水)定員になり次第締切
【申込方法】往復ハガキに○○○クラス申込書と書き、住所・氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を、また、返信ハガキに受講票送付先住所を明記して甲南大学国際言語文化センター事務局へお申込みください。8月30日より前の消印のものについては受付られないこともあります。
【問い合わせ先】国際言語文化センター事務局
078-435-2326
- 【定 員】200名(一般社会人)
【申込締切】8月30日(月)から9月3日(金)定員になり次第締切
【申込方法】往復ハガキに「ジェンダー受講申込」と書き、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号をご記入の上、甲南学園広報部までお申込みください。お申込み多数の場合は、記入完備のものから優先させていただきますのであらかじめご了承ください。なお、1枚のハガキに1名のみご記入ください。返信ハガキには宛先(ご本人の住所・氏名のみ)ご記入ください。
2 甲南大学のホームページからも申込みできます。
【問い合わせ先】甲南学園広報部 078-435-2314

秋季公開講座
「ジェンダーで見る現代の日本」

- 「ジェンダー視点」に基づく職場や家庭、社会保障や文化表現の実像解明を行い、男女がともにもっと自由になれるような生き方を模索します。
●10月2日(土) シングル化する日本
大阪経済大学教授 伊田広之
●10月9日(土) EUにおける男女平等化の営み
本学法学部教授 中井伊都子
●10月16日(土) サラリーマンとOL
本学経済学部教授 熊沢誠
●10月23日(土) 家事労働をめぐる大阪府
大阪府大学助教授 服部良子
●10月30日(土) 税金と社会保険のありかた
本学経済学部教授 永廣順
●11月6日(土) ママ・カルチャーにみるジェンダー
本学文学部教授 北原恵
【時 間】10時～11時30分
【場 所】5号館1階511講義室(11月6日は522講義室)
【費 用】受講料3,000円(6回分)テキストなど資料代、税込込み

7月22日
神の手を持つ心臓外科医
須磨さんの書籍を進呈！
本誌21・22 P.1's Konan Style に登場いただいた須磨久善さんに関する書籍を、抽選で各2名の方にプレゼントいたします。同封のアンケートハガキに必要事項をご記入の上、欲しい書籍名にチェックを付けて(どちらか一冊、お申込みください)。
応募締切は、6月末日到着分までとさせていただきます。

2004年度
オール甲南の集い
のご案内

甲友ファミリーの
あなたとつくる
年に一度の大同窓会

岡本キャンパスに集合し、自分たちの手でつくる一年に一度の催し、「オール甲南の集い」。創立50周年を記念して2001年より始まったこのイベントも、すでに4回目を迎えました。卒業生、在校生、父母の皆さま、またそのご家族まで、甲友ファミリーが集い、仲間や先生との再会、現役各クラブのパフォーマンスなどを楽しむ恒例の催しとなっています。このオール甲南の集いを、今年は8月7日(土)に開催します。ますます充実の内容で開催してまいりますので、ご家族ご友人とお誘い合わせて参加し、甲友の絆を深めてください。



PROGRAM

甲友会館大ホール

現役各クラブが日頃の成果を披露! オール甲南夢舞台
出演予定/グリークラブ、アモロソ、ジャズ研究会、チアリーディング部
[14:00～16:00]

甲友会館1Fロビー

茶華道料理部道心会によるお点前でひと息 お茶会 [12:00～16:30]

グラウンドまたは講堂兼体育館

フットサルで楽しく汗を流そう ミニサッカー大会 [14:30～16:30]

10号館1012講義室

子どもたちが楽しめる遊びがいっぱい 子供広場「キッズランド」
[12:00～16:30]

5号館前

夏祭りの屋台気分がエンジョイ! お祭り広場 [12:00～16:30]

学友会館2・3階食堂

軽食、ビール、綿菓子、スナック類などを用意 模擬店 [12:00～16:30]

142講義室

スポーツ・健康科学教育研究センター設立記念座談会
「21世紀のスポーツを語るーアテネオリンピックを目前にー」(仮題)
パネリスト: 水野正人氏(ミズノ株式会社代表取締役社長)、伊東浩司氏(甲南大学講師)、ほかゲスト(予定)
[12:00～13:30]

5号館1階カフェ・パンセ

久しぶりの仲間とゆったりくつろげる 語らいの広場 [12:00～16:30]

10号館各教室

懐かしい仲間・先生と集まって語り合おう クラブ・ゼミOB会「恩師を囲んで」
[14:00～16:30]

アメリカンフットボール部OB会、剣道部「縦之会」、ゴルフ部OB会「甲南緑友会」、スポーツ愛好同好会OB会、卓球部OB会、バスケットボール部OB会、ラクロス部OB・OG会、陸上競技部OB会「秀峰会」、囲碁・将棋部OB会「甲南棋友会」、グリークラブOB会「甲陵会」、KSWL・OB会、自然科学研究会OB会、能楽研究部OB会、杉村芳美ゼミ、都染直也ゼミ、小山直樹ゼミ、宝塚甲南会 ほか

クラブ・ゼミなどOB会の開催を募集しています。
準備の都合上、6月18日までにご連絡くださいますようお願いいたします。
申込み・問い合わせ先: 甲南学園広報部 TEL 078-435-2314/FAX 078-435-2546

※プログラム内容は都合により変更される場合があります。※駐車場はございません。電車・バスをご利用ください。

◆次号は2004年9月発行予定

甲南Today NO.18

発行日/2004年5月10日
発行/甲南学園広報部
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL (078) 431-4341 (代)
印刷/大日本印刷株式会社

お詫びと訂正	
●前号の21ページに掲載いたしました同窓会総会のご案内欄にて、武田国男氏の卒業年度に誤りがありました。ここに訂正いたします。	●前号の19ページに掲載いたしました卒業生の著書紹介コラムにて、江副浩正さんの卒業年度に誤りがありました。ここに訂正いたします。
(誤) 1961年 ↓ (正) 1962年	(誤) 1930年 ↓ (正) 1955年

ご当選の皆さま

大西昌宏さん(90卒) / 大場麻美さん(00卒)
岡田紀子さん(97卒) / 小林良一さん(56卒)
西野耕作さん(79卒) / 平田陽子さん(91卒)
村上博子さん(86卒) / 安松茂光さん(81卒)
山中和光さん(父母) / 末積玲子さん(93卒)

ラガールカード当選者発表

「甲南Today No.17 ラガールカードプレゼント」にご応募いただき、ありがとうございました。300件近い応募があったため、当選人数を急遽5名から10名に変更させていただきました。厳正なる抽選の結果、めでたく当選された皆さまには「ラガールカード」をお送りいたします。おめでとうございます。今後とも「甲南Today」に、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

EVENT SCHEDULE

5月
●前期社会人講習会「言語講座」(1日～7月3日)
●春期公開講座(15日～6月19日)
●親子で楽しむ生物観察(22日～7月17日)
●第135回現代講座(29日)
●カウンセリグセンター講演会(5日)
●文化会フレッシヨンハイキング(6日)
●大学教育懇談会(26日)

6月
●体育会フレッシヨンキャンプ(3・4日)
●前期講義終了(15日)
●前期試験(16～29日)
●夏期公開講座「パドミントン教室」(16～30日)
●夏期公開講座「Jコン教室」(24・25日)
●国際言語文化センター「夏期社会人講座」24日
●人間科学研究所公開シンポジウム25日
●夏期休暇(30日～9月15日)
●大学オープンキャンパス31日
●文化会キャンプ(2～4日)
●オール甲南の集い(7日)
●大学オープンキャンパス22日
●前期未卒業式・学位授与式(15日)
●後期講義開始(16日)
●後期社会人講習会「言語講座」(25日～12月4日)

7月
●前期試験(16～29日)
●夏期公開講座「パドミントン教室」(16～30日)
●夏期公開講座「Jコン教室」(24・25日)
●国際言語文化センター「夏期社会人講座」24日
●人間科学研究所公開シンポジウム25日
●夏期休暇(30日～9月15日)
●大学オープンキャンパス31日
●文化会キャンプ(2～4日)
●オール甲南の集い(7日)
●大学オープンキャンパス22日
●前期未卒業式・学位授与式(15日)
●後期講義開始(16日)
●後期社会人講習会「言語講座」(25日～12月4日)

8月
●前期試験(16～29日)
●夏期公開講座「パドミントン教室」(16～30日)
●夏期公開講座「Jコン教室」(24・25日)
●国際言語文化センター「夏期社会人講座」24日
●人間科学研究所公開シンポジウム25日
●夏期休暇(30日～9月15日)
●大学オープンキャンパス31日
●文化会キャンプ(2～4日)
●オール甲南の集い(7日)
●大学オープンキャンパス22日
●前期未卒業式・学位授与式(15日)
●後期講義開始(16日)
●後期社会人講習会「言語講座」(25日～12月4日)

9月
●前期試験(16～29日)
●夏期公開講座「パドミントン教室」(16～30日)
●夏期公開講座「Jコン教室」(24・25日)
●国際言語文化センター「夏期社会人講座」24日
●人間科学研究所公開シンポジウム25日
●夏期休暇(30日～9月15日)
●大学オープンキャンパス31日
●文化会キャンプ(2～4日)
●オール甲南の集い(7日)
●大学オープンキャンパス22日
●前期未卒業式・学位授与式(15日)
●後期講義開始(16日)
●後期社会人講習会「言語講座」(25日～12月4日)

